

# 福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞

TBSラジオ『MY!NEWSおきゅーりんぐ』取材紹介

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定  
3500016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 **福音の園・埼玉 事務局**

☎049-230-1111 (Fax)230-1112

福音の園 Gospel Garden は、有限会社シャロンの商標

## 「家族の声」

### 家の近くの福音の園にお世話になろう

母は今市市（現在の日光市）にて大正七年に二男三女の次女として誕生。小学生の頃は、近所の家の買い物を頼まれて一つの間違ひもなく出来たと今でも自慢しております。また、料理上手な母でありました。今でも好きな様です。

父は六年前、兄は二年前に他界し、一人暮らしとなり、デイサービスとヘルパーさんのお世話になっており



ました。妹は米国在住のため、私が週に一度ゴミ出しや食事の支度のため泊まりに行っておりました。

二月に老人ホームを見学した際には、ホームに入るのは「子供に見放された」との思いが強くありましたが、三月十一日の大震災に会い、一人暮らしは無理だと思ったのでしよう。私の家の近くの福音の園にお世話になる事が出来、本人も喜んでおります。皆様の温かい介護に感謝いたします。今後共宜しくお願ひ申し上げます。

(T・M)

## 「敬老の日」に寄せて・運営方針説明

### いつか行く道へ―介護の原点に立って

グループホーム 福音の園 川越 ホーム長 杉澤 卓巳  
毎月第三木曜日を『スタッフ研修会議』（午前九時～十一時迄）と定めて、夜勤明けや公休者も含め全員出席し「研修と全体並びに各階会議」を行ってている。過日、事業運営方針を次のように提示し説明した。

※※※※※※※※※※※※※※※※

二十年前、高齢者介護の仕事に転職した時に想像もできなかった事の一つが、「大人用紙オムツ」ＣＭを夜7時のゴールデンタイムで放映。また、介護特集番組をNHKや民放から連日放映されるようになったこと。ところで、「親の介護・施設サービス利用」を取材したTV番組を観て問題意識を持つようになった。①親の介護で大変だ「介護難民」。②親の介護で〇年勤めた仕事を辞めた「介護離職」。③介護費用が家計を圧迫。

費用がかさみ、子供の進学（教育費）など将来が不安だ。各TV局共、「加害者・被害者扱い」のような番組構成は、大切な視点を番組制作担当が見落としているように思えてならない。親の介護は「いつか行く道へ―今は私（私たち）が寄り添い、いずれは誰かが私に寄り添う」お互いのため、人間として当然な本分（人として尽くすべき義務）であること。「親の介護が大変だ。自分の生活（家庭）がダメになる！」と愚痴るが、自分が大人になるために親がどれだけ苦労して育ててくれたかを忘れていないか。「親の恩、親を敬愛」する言動を子供たちが観ている。やがて自分が高齢となり、子供の世話になる順番が来たとき、果たしてどう取り扱われるのだろうか？ 子供は親の後ろ姿を観て育つから、親を大切にしたらやがて自分も大切にされる。親を粗末にしたらやがて自分も粗末に扱われる。人は蒔いた種を

自分で刈り取ることになる。これが公平な社会の道義（人が守るべき道徳の道筋）。天井（真上）に向かって唾を吐けば、そのまま自分に落ちてくるのを忘れまい。

さあ、私たちが「親の施設費用がかさみ大変だ」と言われる側に身を置く立場から、当園に支払われる「費用対満足（成果）」として、家族から喜んでいただけるよう尽力する責務が課せられている。先ほど紹介したK・Hさん長女様お便りのように『改めて、母は何と素晴らしい所でお世話を受けていたのだろうと感謝の念でいっぱいです』と評価され続けられるよう最善を尽くしたい。そして、スタッフが一緒になってお世話する（看取る）から「一緒懸命なホームになる」と目標を新たにしたい。もう一度心をひとつにして、当園「看取り介護（看護体制）」は、「いずれは誰かが私に寄り添う為の順番」なのだという介護の原点を見つめながら勤めたい。

## スタッフの声

### 入居者の声を代弁し、望むケアを

八月より1階の計画作成担当となり、今まで以上に入居者の日々の言動を観察するようになりました。私たち援助者は、利用者本人を一番に理解する事が基本。様々な状況もしつかりと受け止め、その言動の意味は何か？ 特に認知症の方にとっては、本当の声を私たちが代弁し、本人（家族）の望むケアをしていきたいと思えます。「マスのロウの欲求」⇨生理的・安全の欲求、愛されたい、尊敬されたい、○○をしたいという欲求は、人なら当然の欲求であり、日々の生活で特別な事ではないと思うから…。

（1階ユニット計画作成担当・鈴木 昌子）

## 来訪歓迎

ボランティア体験プログラム 川越市社会福祉協議会様  
五年経験者・社会貢献活動体験研修 川越市教育委員会様